

「 沖縄県内産科施設における胆道閉鎖症スクリーニング検査(USBA)の実態調査 」へのご協力をお願い

研究の目的や意義・方法を簡潔に説明

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 小児外科外科では 県内産科施設を対象に、沖縄県における USBA 検査を行う施設に対する研究を実施しています。この研究は、沖縄県における胆道拡張症早期発見に役に立つと考えております。

・研究の内容に応じた記載項目

(生命・医学系指針 第 8.6 研究対象者等に通知し、又は公開すべき必須事項 参照)

研究課題名	沖縄県内産科施設における胆道閉鎖症スクリーニング検査(USBA)の実態調査
研究の対象	県内 20 の産科施設 医療法人 仁清会 かみや母と子のクリニック たから産婦人科 医療法人 運天産婦人科医院 赤嶺レディースクリニック 医療法人がじまるの会 糸数病院 医療法人 愛聖会 伊波レディースクリニック 医療法人 彩の会 やびく産婦人科・小児科 当山産婦人科 医療法人 新田クリニック パークレーレディースクリニック 上原産婦人科 豊見城中央病院 たまき産婦人科 安座間産婦人科 アドベンチストメディカルセンター 仲地レディースクリニック 医療法人 祐の会 友利産婦人科 久米島病院 八重山病院 社会医療法人友愛会 友愛医療センター
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	目的：USBA 検査に関する各施設の実施状況、考えを明らかにする。 方法：アンケート調査
研究期間	2025 年 10 月から 2030 年 12 月まで

研究に使用する試料・情報の種類	USBA 検査に関して、どのように説明を行っているか、検査を行う児の選定方法、実施プロトコル、二次検診施設の選定方法
研究実施機関（研究組織）	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 小児外科
外部への試料・情報の提供とその方法	本研究では院内のみの使用で、外部に試料情報の提供はありません。
情報の管理について責任を有する者・所属	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 小児外科 都築 行広

本研究はヘルシンキ宣言（2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2021 年 6 月 30 日施行）に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。

また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

研究者の開示すべき利益相反についての記載

本研究は研究費を必要とせず、開示すべき利益相反はありません。

オプトアウトに対する記載

本研究の対象となる患者さんでご自身やお子さんの情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。研究データからお子さんの情報を削除いたします。その場合も診療において不利益を被ることはありません。

尚、解析開始後あるいは公表後は情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口はこども医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先 研究責任者

外科 都築 行広

沖縄県立南部医療センター。こども医療センター

総務課 倫理委員会事務局

Tel: 098-888-0123(病院代表)